

皆さんのあたたかい善意に感謝します

綾町社会福祉協議会

(7月1日～31日受付分)

一般寄付

寄付者／物品 (地区名)

吐師 保／野菜 (宮原)

川崎 信一／野菜 (倉輪)

外山 國夫／野菜 (立町)

忌明寄付

寄付者／物故者 (地区名)

山下江美子／勝 (神下)

瀬口 良彦／良雄 (上畑)

稲澤 久生／フヂ子 (神下)

前畑 末春／佐枝 (宮原)

綾町育英会

(7月1日～31日受付分)

一般寄付

寄付者／物故者 (地区名)

稲澤 久生／フヂ子 (神下)



column

ボウズハゼ

魚の中でもユニークな顔をしている代表種。名前の由来は、その坊主のような丸い頭の形からきています。口は下向きに開き、お腹の吸盤で岩にくっつきながら、岩の表面に生えた藻類を食べます。ハゼの仲間では、最も吸着する習性が強く、水中であれば垂直の壁でも吸い付いて這い上がることができます。

夏に大きな石の下に卵を産みますが、ふ化した稚魚はすぐに海へ下って成長し、翌年の春にまた川を上ってきます。幼魚は柔らかく食用にしている地域もあるよ



うです。動きが素早く、捕獲は難しいですが、チャンスがあつたらぜひ捕まえて観察してみてください。手で握ると吸盤で吸い付いてきますよ。

文芸の ひろば

生涯学習講座

「短歌」受講生の作品

落花生を植える畑の畝を切る真綿のご
とき春の陽あびる

池田 壽美子さん (宮原)

落花生を植える畝を作る情景があざやかに見える。下句には畝を作り終えた作者の安堵感がにじみ出ている。春の霞みだろうか。それを真綿と比喩したところが楽しい。春の霞みは落花生と作者自身にも降り注ぐ。落花生の実りを楽しみにしている作者の心情も表現されている。

勢いよく人工芝を駈けて行く車椅子よ
り打たれたる玉

小田 美恵子さん (宮谷)

ゲートボールだろうか。打たれた玉は「車椅子より」というのが作者の発見。勢いのある玉なので元気のない高齢者と思つていたのでしょう。不意を突かれて驚いている作者が浮かんでくる。パ先入観でものごとを判断してはいけないという戒めであろう。パラリンピックのスポーツを見る機会が増えている昨今、アスリートの鍛え上げた身体能力に圧倒されている。

【解説】生涯学習講座「短歌教室」講師 福原 美江